



千葉大学医学部ヨット部報

Vol.37 2024/7月吉日

はじめに

今年も連日厳しい暑さが続いておりますが、OB・OGの先生方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。私たち千葉大学医学部ヨット部は5月に6名の新生を迎え、現在は江の島での合宿期間に入っております。

8月には東医体を控え、1年生から6年生まで一丸となり優勝に向けて切磋琢磨しております。このように日々練習に打ち込むことができますのも、先生方の温かいご支援とご声援のおかげと部員一同感謝しております。

本報では、千葉大学医学部ヨット部OB会長の徳久先生、顧問の花岡先生ならびに千葉大学全学ヨット部OB会長である斉藤前総監督のご挨拶、今年度入部した新生のご紹介、そして今年度の東医体レースメンバー挨拶を中心にお届けいたします。

創部40周年記念事業

千葉大学医学部ヨット部OB会長 徳久 剛史（昭和48年卒）

先日新生歓迎コンパが、3年前に新築された医学部棟で行われた。医学部から6名と全学から12名（入部は15名）の新生が参加した。大勢のOBたちも参加しており、久しぶりにヨット部の勢いを感じることができた。新生たちがヨット部活動から多くのものを学んでほしいと思っている。

最近千葉大では周年事業が目白押しである。昨年は、医学部ヨット部創部40周年、全学ヨット部創部70周年、そして今年は、千葉大学創立75周年、医学部創立150周年と続いている。従来から周年事業では、記念誌の編纂や文部科学省の支援がない建物（記念講堂や同窓会館など）を建ててきている。そして千葉大学創立75周年では、西千葉キャンパスの運動場を2億円かけて整備しようとしている。医学部ヨット部創部40周年の記念事業では、老朽化したマークボートの新設などを計画したが、資金の集まりが新艇購入には届いていないようである。

ヨット部の運営には、艇の購入や維持などで多額の経費がかかる。私が学生だった頃から変っていない。大きな違いは、当時の国立大学には船舶費という予算枠があり、時々大学から新艇を購入してもらっていた。それでも新艇がほしいので、当時流行していたダンスパーティーをヨット部で主催したりして購入資金を捻出していた。このような組織的な資金集めを行っていた頃が、同時

にヨット部の黄金期でもあった。

2004年の国立大学法人化以降は船舶費という項目は無くなり、新艇の購入などは部員たちで資金を捻出してこななければならない。アルバイトなどで資金を集める努力は続けているようだが、医学部では授業の過密化からアルバイトの時間的ゆとりも少なく、あまり期待できない。そのようなときには、OB会を頼っても良いと思う。その良い機会が周年事業ではないかと思う。私は、これからも「金は出すが、口は出さない」OBの一人として、学生達を見守り続けるつもりでいる。

2024年の夏

医学部ヨット部顧問 花岡 英紀（平成5年卒）

ヨット部の皆様、いよいよ東医体が始まりますね。東医体は毎年ありますが、2024年の大会は1回限りです。日頃の成果を発揮する時です。スキッパーの諸君はリーダーシップが重要です。クルーは諸君の最高の相棒でしょう。また、皆さんを支える部員があつて初めてレースができるのです。誰もが多くの人の支えの中でレースができるのです。そして今年は諸君が主役として一番実力を発揮する大会になります。全力でレースに勝ってください。そして、周囲への感謝を忘れないでください。

また、安全第一を心がけてください。小さい事故は大きな事故の前触れです。普段から一つ一つ原因を解決して進むことが重要です。そうすれば最高の相棒も自身も危険から身を守ることができます。

大会を運営する皆さん、きっと準備が大変かと思います。主管校として今年はぜひ思い出に残る大会にしてください。

そして、将来、皆さんが仕事を始めた時にこの2024年の夏の経験はきっと役に立つでしょう。いい夏にしてください。ヨット部諸君全員の健闘を期待しています。

大学生になったら

体育会ヨット部OB会長 斉藤 威

新入生の皆さん、入学おめでとう。そしてヨット部入部おめでとう。

「一年生になったーら、友達100人できるかなー」という童謡があります。皆さんは「大学生になったーら、友達部活でできるかなー」という思いではないでしょうか。そうなのです。大学の部活でできた友達は生涯の友達となります。私は昭和47年卒で、同期は後期高齢者となりました。昨日も同期4人でゴルフを楽しみました。7月にはA級ディンギーという大学時代に乘っていたヨットの全日本選手権にも参加します。そして友達は同期だけに限らず、十数年年上の先輩から数十年年下の後輩までが深い絆で結ばれることとなります。

ということで、私と皆さんとは友達になりました。今後ともよろしくお願いします。

そして学校で勉強することも大きく変わります。今までは「学習」でした。先生や教科書から「まなぶ」「まねる」そして「ならう」「なれる」ということでした。これからは「研究」だと思います。自らで自らを「みがく」「とぐ」そして「きわめる」ということではないでしょうか。そして今までは答えのある試験問題を解いてきました。これからは自らで問題や課題を見つけ、数ある答えを選んだり、今までにない答えを自分で見つけ出すのが大学生活ではないでしょうか。

このことは大学の部活でも言えることです。ヨット部での4年間、6年間、ヨットとヨット部と向き合う中で、是非とも心がけてほしいと思うことです。何事も受動的ではなく能動的に取り組んでほしいと思います。

ヨットレースで勝利するためにはヨットや海象・気象のメカニズムを知り、戦略・戦術を練り、思考力・体力を磨くことが必要で、これらのことを私は「ヨットを科学する」と言っています。積極的に科学してください。

これに懸命に取り組むことでヨットもうまくなりますが、何より自分の資質が高まります。人間力が増します。部活の意義や意味はここにあると言っても過言ではないと思います。

さらにチームが勝利するためには、チーム力を高めることが必要です。

「ヨットは面白いし、科学すればするほど速く走れるようになるのがうれしいと思うが、部の雰囲気が好きになれない、ヨット部生活が楽しくないのでやめてしまいたい。」という部活になっていませんか。このことは1年生が一番感じやすいことです。ヨット部をよい方向に、チームワークに優れたヨット部になるよう、是非とも1年生で話し合って正直なところを上級生に伝えましょう。

そして、下級生の言葉に素直に耳を貸せるような上級生になりましょう。

このこともまた部活の意義や意味です。目的だと思います。

ヨット部はあなた自身を研究するツールですよ。



▲2024年度千葉大学全学医学部ヨット部合同での新歓コンパの様子

今年も多くの新入生を迎えることができました。

新入部員の言葉

2024年度新歓コンパにて、医学部ヨット部では6名（男子4名、女子2名）の新入生が入部いたしました。まだまだ慣れないことが多いながらも、ヨットという新しい競技について学びながら積極的に練習に取り組んでおり、今後の成長に期待しております。

五十嵐 聖人（桐朋）

チーム一体になって東医体優勝できるように六年間頑張りたいと思います。

井上 京香（都立小石川）

熱意を持って優勝を目指す大学生活を送りたいと思い、ヨット部への入部を決意致しました。憧れの先輩方に近付けるよう精進して参ります。よろしくお願いいたします。

大貫 颯斗（海城）

新歓の雰囲気や試乗会でのヨットの爽快さに惹かれて入部しました。まだまだ未熟なことも多いですが、精一杯頑張っていきます。よろしくお願いいたします。

高安 誠鴻（明治大学附属中野）

まだまだわからないことばかりですが、東医体優勝を目標に掲げる先輩方の役に少しでも立てるように頑張りたいです。

辻 菜々香（雙葉）

先輩たちの素敵な雰囲気に惹かれて入部させていただきました。これから練習に励んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

十林 悠（福島県立安積）

東医体優勝を目指す部活に入りたくて入部を決意しました。学生セーリングの限界に挑んで精進して参りますのでよろしくお願いいたします。



▲2024年度新入生（左から辻、井上、五十嵐、大貫、高安、十林）

2024年度 東医体レースメンバー紹介

今年も、医学部ヨット部最大の大会である東日本医科学学生総合体育大会（東医体）が近づいてまいりました。本戦は8/2～8/4の3日間、江の島ヨットハーバーにて行われる予定です。本戦2日目および3日目には観覧艇も手配いたしますので、是非レースの応援にお越しく下さい。

今年度のレースメンバーは5年生4名、3年生4名で構成され、4757・4581・4486・4465のヨット4艇で出場いたします。応援のほど、どうぞよろしく願いいたします。

それでは今年のレースメンバーの挨拶です。

JPN4757 スkipper：三浦健登 クルー：水野杏美

OBOGの先生方をはじめとして沢山の方々に支えられてヨットの練習ができており、大変恵まれていることを感じる1年間でした。東医体優勝という形で恩返しができるように精一杯頑張りますのでご声援のほどどうぞよろしく願いいたします。（三浦）

日頃サポートしてくださっている方々への感謝を胸に、クルーの集大成として全力を出し切ります。応援のほどどうぞよろしく願いいたします。（水野）



JPN4581 スkipper：赤尾真歩 クルー：伊藤誠敏

コロナ禍で入部してから4年、沢山の方々に支えられて部活を続けてくることができました。日頃ご支援を頂いているOBOGの先生方、身近でサポートしてくださった先輩・後輩・同期達に、優勝という形で恩返しできるように、最後まで全力で走り切ります。（赤尾）

みなさんにサポートいただき、勝てる千葉医が仕上がりがつつあると自負しています。必ず優勝という形で恩返ししますので、応援よろしく願いいたします（伊藤）



JPN4486 スkipper：植松嵩太郎 クルー：日昔百菜

この1年間、本当に多くの方に支えていただいている事を感じる日々でした。その感謝の気持ちを、結果という形でお返しできますよう全力を尽くします。ご声援のほどよろしくお願ひいたします。(植松)

OBの先生方をはじめ、今までお世話になってきた方々に東医体優勝という形で恩返しできるように頑張ります。良い景色を見れるよう全力を尽くしたいと思います。(日昔)



JPN4465 スkipper：岩岡優太 クルー：今田優希

日頃からご支援頂いているOBOGの先生方、また日々支えて頂いている先輩や下級生、高め合ってきた同期とクルー学年に心から感謝しております。練習の成果を発揮し期待に応えられるよう全力を尽くします。ご声援のほどをどうぞよろしくお願ひいたします！(岩岡)

日々ご支援、ご声援いただきありがとうございます。クルーとして最善を尽くし、優勝できるよう練習に励んでまいります。(今田)



▲レースメンバー全8名(左から順に、赤尾、伊藤、今田、岩岡、植松、日昔、三浦、水野)

2024年度 東医体・医科歯科大会日程

東医体 (江の島ヨットハーバー)

7月31日 プレレース

8月1日 女子レース

8月2日～8月4日 本戦

関東医科歯科学生ヨットレース (江の島ヨットハーバー)

8月6日 プレレース

8月7日～8月8日 本戦

2024年度 現役部員名簿

顧問 花岡 英紀教授

6年	大山 諒	4年	五町 総一朗	2年	折田 彩乃
	小山田 理恵	主務	佐野 優衣		木村 優希
	北村 美織		神保 気凜		瀧川 真希
	竹内 南帆	主将	鈴木 喬晶		仲澤 拓真
	田中 颯人		松原 未来		西 玲磨
	中西 杏璃				渡辺 健太郎
	原田 晃希	3年	伊藤 誠敏		
			今田 優希	1年	五十嵐 聖人
5年	赤尾 真歩		日昔 百菜		井上 京香
	岩岡 優太		水野 杏美		大貫 颯斗
	植松 嵩太郎				高安 誠鴻
	坂本 真理				辻 菜々香
	三浦 健登				十林 悠

コーチボート修理費用援助のお願い

現在部活動で使用しておりますコーチボートの不調により、活動の安全性担保に重大な影響が出ている事態を踏まえ、本年1月より、コーチボート買換えのためのご支援・ご協力をOBの先生方をお願いさせていただいております。これまでご寄付くださった先生方におかれましては、ご多忙の中ヨット部への温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。しかしながら、現在の支援総額は以下の通りであり、目標金額達成は未だ難しい状況でございます。

5月以降、東医体本番に向けて江の島に拠点を移し活動を行う中で、外洋での練習はより事故や遭難のリスクも高く、コーチボートによる安全かつ円滑な練習運営が非常に重要であると改めて感じております。つきましては一刻も早いコーチボートの購入による安全確保のため、より多くの先生方のご芳志を賜りたく何卒宜しく願いいたします。また何かご不明な点やご指摘がございましたら、主務までご連絡頂けますと幸いです。

【寄付現況（2024年7月時点）】

目標金額：600万円

寄付総額：218万5000円

不足金額：381万5000円

【ご寄付の方法】

ヨット部公式ホームページからクレジットカードやコンビニ支払いにてご寄付いただけます。



あとがき

千葉大学医学部ヨット部夏部報も、おかげさまで第37版を迎えることができました。今回の部報の発行にあたり、ご寄稿いただきました先生方には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、1月より開始させていただいた寄付事業では、日々OBの先生方からご支援を頂けることの有難さを強く実感しております。毎年多くの新入生を迎え、大所帯となった私たち千葉大学医学部ヨット部ですが、その全ての部員が東医体に向けて練習に励み、活躍することのできる環境が整っておりますのは、ひとえに先生方のお力添えがあつてのことと、部員一同深く感謝申し上げます。

本年は私たち千葉大学が東医体の主管校を務めております。日頃応援して下さる先生方に必ずや良いご報告ができますよう、レースメンバー、サポートメンバー、運営陣一体となって全力を尽くしてまいりますので、今後ともご声援のほどどうぞよろしくお願いいたします。

4年主務 佐野優衣